

救援カンパアピール資料

政治弾圧と 闘う全学連

学生運動破壊を許さない！
労働者・市民と共に跳ね返そう！

mail

mail@zengakuren.jp

web

www.zengakuren.jp

twitter

[@Zengakuren](https://twitter.com/Zengakuren)

全学連

京大に
続いて

広島大でも不当逮捕／齋藤いくま起訴弾劾

広島県警公安課は5月22日、広島大学で活動する全学連の仲間二人を「傷害」の容疑で不当に逮捕しました。二人が大学職員に怪我を負わせたということが「容疑」の中身ですが、とんでもないでっち上げです。5月17日に京大におけるビラ撒きを「建造物侵入」として起訴された齋藤いくま前委員長への弾圧に続く、学生運動破壊の政治弾圧にほかなりません。全学連は、齋藤いくま起訴と並んで、この不当逮捕を徹底弾劾します！

広島大で実際に何が起こったのか——それは、広島大生が当日撮影していた動画から明らかです。4月4日の朝、広島大学学生生活支援グループの田中恵一職員が学生用掲示板に貼られていた学生のビラを無断で剥がすというとんでもない言論弾圧を行います。その行為を発見した広島大の学生らはビラを返すよう田中職員を説諭します。ところが、以前より学生に対するパワハラを繰り返してきた田中職員は、相変わらず学生を口汚い言葉と大声で罵り、撮影する学生に暴力を振るったり、今回逮捕された学生を地面に押し倒したりするなど粗暴な行為を繰り返したのです。その過程で田中職員が一人勝手にわざと転んだことを「傷害」などとわめきたて、広島大が公安警察と一体になって学生を逮捕させた——これが実際に起こったことでした。まさに「転び公妨」そのもの、でっち上げ弾圧です。

広島大当局はこの間、立て看板や掲示板利用に関する規制を強化したほか、学生自治団体のサークル連合組織を非公認化したり、全サークルに対して構成員名簿や「不敬な行為を行ったらサークルを解散する」などの内容が記された誓約書の提出を義務付けたりするなど、露骨なサークル活動破壊を行ってきました。これに対して、今回逮捕された学生らは、不屈にサークル活動の自治と自由を守るべく闘ってきたのです。そして、その闘いの拡大と進展に恐れた広島大当局は、学生を個別に呼び出したり、家族に嘘を吹き込んで恫喝したりしようとしたのですが、いずれも完全に破綻してきました。その広島大当局がついに踏み込んだのが、学生の警察への売り渡しという行為だったのです。



学生の所属学部や氏名を叫びつつ、威迫・パワハラを繰り返す田中職員（写真左）。同日別時間に撮影。

救援費用のカンパをお願いします！

この間、全学連に対して繰り返される「転び公妨」やビラ撒き犯罪化の不当な逮捕・起訴が意味するものは何か。第一に、**全学連であり全国学生運動に対する攻撃**です。大学の中でビラを撒いたら犯罪だ、キャンパス内で学生運動をしたら「転び公妨」で犯罪をでっち上げる……これは決して一大学の個別具体的問題でもなければ、全学連だけの問題でもありません。全国のあらゆる学生運動、現状変革を志す、すべての学生に対してかけられた「**大学当局に逆らったら逮捕するぞ**」という恫喝です。全学連を見せしめにして、全国すべての学生・学生運動の萎縮を狙ったものにほかなりません。第二に、連帯労組関西生コン支部に対する組織絶滅型弾圧と本質的に一体の改憲＝戦争に向けた政治弾圧です。安倍政権は「2020年新憲法施行」を諦めず、秋の臨時国会での改憲案発議―来年春の国民投票に進もうとしています。そして、そのためには天皇制から、トランプ訪日・G20、そして衆参同日選の実施など、なりふり構わない姿勢を見せています。しかし、改憲＝戦争をやるためには、労働運動・学生運動をあらかじめ潰さなくてはいけない……そういう危機感であり焦燥こそが、労働運動や学生運動に対する国家意思としての政治弾圧に走らせているのです。

では、私たちはこの政治弾圧にどう立ち向かうべきか。第一に、不当な逮捕や起訴が運動の萎縮を狙った脅迫であることを見抜き、運動の発展で警察権力に対して反撃することです。昨年11月には東洋大でビラ撒きをしたとして全学連メンバー2人が不当逮捕されましたが、それは多くの学生の怒りと反撃を呼び、警視庁公安部に「不起訴釈放」という敗北を強制しました。運動への弾圧に対しては、運動の発展・拡大で応えるのみです。全国の学生に、9月全学連大会への大結集を呼びかけます。第二に、あらゆる運動が連帯して、改憲＝戦争阻止の闘いを一層発展させることです。安倍政権は5月天皇代替わりを、国家主義＝排外主義で全国を覆う好機と考え、天皇礼賛の一大キャンペーンを張りました。しかし、5月1日当日にはメーデーデモや反天皇デモが打ち抜かれ、天皇制で労働運動を潰す目論見は見事に破産しました。10月の新天皇パレードや来年に控えるオリンピックによる国家主義＝排外主義の扇動すなわち改憲・戦争攻撃を許さない運動を一層発展させましょう！

最後に、全学連に対する救援費用のカンパをお願いします。弁護士費用や救援運動の交通費を筆頭に、多額の費用が必要となっています。皆様のご支援のみが頼りですので、救援カンパをよろしくお願いいたします（詳細は裏面を御覧ください）。

抗議を

広島大に抗議電話の集中を！

082-424-6146

（広島大学学生生活支援グループ）

「田中職員（※弾圧の下手人）に用がある」旨を伝えて、不当弾圧に抗議してください。

京大キャンパスでビラを撒いたとして「建造物侵入」で昨年11月に逮捕・起訴され、現在公判中の吉田耕さん（左写真）は、去る4月末に保釈を勝ち取った。さっそく5月20日には辺野古基地前座り込みに大雨を打ち破って参加し、元気な姿を沖繩—全国の仲間に見せた。この日の座り込みでは、3月以来となる工事車両入構の実力阻止を実現した。



齋藤いくま前委員長の奪還を目指して、多くの学友が齋藤さんの身柄のある京都に駆け付けた。中でも京都大学全学自治会同学会はその先頭に立ち、5月17日の勾留理由開示公判は傍聴席が溢れるほど学生や京都市民が駆け付けた。

救援費用のカンパをお願いします！

警察権力の横暴（不当な政治的逮捕・起訴）と対決するためには、弁護士費用や救援活動のための印刷費・交通費をはじめ、多額の費用が発生します。敵は国家・警察であり、全学連にとっては労働者・市民の皆様からのご支援のみが頼りです。

★振込先★

ゆうちょ銀行 店番 019（普通）0766112

救援を！